

2018年6月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

6月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害件数は43件で、2018の合計は、計224件となりました。

今月のコメント！

◎話しかけによるスリ、置き引きの被害が増加しています。見知らぬ人から話しかけられた際には、まず犯罪を疑い、貴重品の管理を徹底してください。

◎渡航にあたっては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお勧めします。

【2018年6月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	1	3
ひったくり	1	18
スリ	27	112
置き引き	12	73
車上狙い	4	15
侵入盗(空き巣等)	0	2
偽警察官	0	0
その他の手口・不明	1	1
合計	43	224

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	1	3
6時台～9時台	2	25
10時台～13時台	9	45
14時台～17時台	11	76
18時台～21時台	10	53
22時台～23時台	9	17
不明	1	5
合計	43	224

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	3	28
火曜日	7	28
水曜日	7	23
木曜日	9	37
金曜日	4	35
土曜日	7	45
日曜日	6	28
不明	0	0
合計	43	224

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	30	140
週末・祝祭日	13	84
不明	0	0
合計	43	224

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
地下鉄車内・駅構内	10	60
RERのB線	2	13
上記以外の電車・駅構内	0	0
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	0	10
エッフェル塔界限	2	4
オペラ座界限	9	37
ルーブル・オルセー美術館界限	2	6
上記地区以外のレストラン・カフェ	4	13
上記地区以外のホテル	1	5
上記地区以外の路上	2	19
その他の場所・不明	8	19
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	1	16
レストラン・カフェ等	1	7
ホテル	0	1
路上	0	10
その他の場所・不明	1	4
合計	43	224

○性別区分	当該月	累計
男性	21	114
女性	22	110
合計	43	224

○年齢	当該月	累計
20歳未満	0	3
20歳代	6	56
30歳代	12	41
40歳代	9	40
50歳代	5	49
60歳代	9	26
70歳以上	2	9
不明	0	0
合計	43	224

○月別発生件数(2018年)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
39	38	45	25	34	43	0	0	0	0	0	0	224

【6月の被害例】

1. サンポール駅付近のLCL銀行のATMで入金しようとした際、後ろに並んでいた男性2人組に襲われ、現金を強奪された。(男性在住者)
2. CDG空港で荷物の整理をしていた際、気づいたら横に置いていたバッグから貴重品を盗まれていた。(男性旅行者)
3. オペラ駅構内にて、改札を通ろうとした際、後ろから押された。後刻、バッグのチャックが開いていることに気づき、財布が盗まれていた。(男性出張者)
4. オペラ付近で「上着に何か付いている」と声をかけられたため確認したところ、ケチャップのような液体が付いていた。上着を脱いで液体を拭いている際、肩掛けバッグを盗まれた。(男性旅行者)
5. 混雑した地下鉄車内で数人に囲まれていた際、リュックを前に抱えていたが、気づいたら財布が盗まれていた。(男性旅行者)
6. ルーブル美術館付近のカフェテリアで携帯を見ていたところ、椅子の上に置いていたカバンを置き引きされた。(男性出張者)
7. CDG空港ターミナル2Eのエレベータに乗った際、背後に男が密着してきた。念のためバッグを押さえていたが、別のバッグが狙われて、旅券の入ったポーチが盗まれていた。(男性旅行者)
8. モンパルナス駅からボルドー行きのTGVに乗った際、荷物置場と座席にて荷物整理をしていたが、気づいたら座席上の棚に置いていたセカンドバッグが盗まれていた。(男性出張者)
9. カフェに入って席に座り話をしている間に横に置いていたバッグがなくなっていた。すぐ後に入ってきた女性がオーダーをして食わずにそのまま立ち去り、カフェの店員が追いかけてくれたが捕まえられなかった。(女性旅行者)
10. CDG空港の外でタバコを吸っていたところ、タクシー運転手を名乗る男から話しかけられた。必要ないと断っている隙に手荷物に入れていた貴重品が盗まれていた。(男性出張者)